

清末地区まちづくり集会（H25.9.21開催）

清末地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月21日（土）14:00～15:30

◎場 所 清末公民館

◎出席団体数 16団体

清末地区快適環境づくり推進協議会、清末自治連合会、清末小学校PTA、東部中学校PTA、清末商工振興会、清末第一清寿会、清末地区スポーツ振興会、清末地区民生児童委員会、清末地区福祉員会、清末子ども会、JA下関清末支所運営委員会、清末地区保健推進委員、清末地区食生活改善推進協議会、どあーず、清末あそびっ子クラブ、清末ふるさとまちづくり推進協議会

◎市出席者 総合政策部政策調整監：星出恒夫、総合政策部部次長：大崎信一
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也
清末支所支所長：福本智

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14:00～ |
| 2 部次長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14:30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15:30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

清末地区まちづくり集会（H25.9.21 開催）

【開催の様子】

9月21日に開催した清末地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から16名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、清末地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

清末地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

清末地区まちづくり集会			9月21日 清末地区まちづくり集会			№2 9月21日		
地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	
産業			百円市の更なる充実に向け行政の支援を	高齢者		本会を利用してどうにかならないか		
農産物の地産地消(給食・病院での利用)				ひきこもり高齢者の方の支援				
公共工事に地元業者を				スポーツ				
その他			行政内の分権を	競技場・グラウンドの整備				
六次産業化に係る法解釈及び行政内の連携について			会合は夜か日曜日に(土曜日は仕事)	子育て				
空き家の有効活用(若者を巻き込んで)				保育所の充実		地域の祭りは地域で考える		
安全・安心				子供の活動できる場・会に参加できる仕組み				
街灯を増やしてほしい				少子化問題		黄色の腕章を付けて挨拶するべき(恨しがられる)		
その他				挨拶の奨励				
公民館の空調設備・老朽化				子供会への加入員・役員長<同じ人(負担大)				
定例的な会合のための組織作り								
地域へ丸投げはダメ(行政の金の使い方)								
環境								
堤周辺他の清掃、草刈り								

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

清末自治連合会長をしております。

これから30分ばかりの時間になると思いますが、今日は、清末のそれぞれの団体の代表の方にお越し頂いておりますので、普段、色々と考えていらっしゃる地域の課題、或いは将来、先ほど清末あそびっ子クラブの方からもお話が出ましたが、将来を見据えた問題と言いますか、そういったことも合わせてご自由に一つご意見を頂けたらという風に思います。

発言の際には、挙手してください。そうしたら、ご指名がしやすいと思いますので。なお、今日は傍聴に市議会議員もお見えになっておりますので、また行政の中の課題について、色々今後、参考にして頂けるのではないかとこの風に思います。

それでは、どなたからでも良いのですが、今、お手元には参考データとして、清末地区の状況を記したものもあります。ご自分の所属されている立場でも宜しいですし、それから清末全体を見据えられて、こういった課題があるよという事でご発言を頂いても結構でございます。

では、順番にいきましょうか。今日は一つ、全員に発言していただきたい。せっかくおいでになったのですから。

【市民】

清末自治連合会の副会長をしています。

地域の課題だけではないと思うのですが、やはり清末は農業なのですね。米作りとかですね。要望は地産地消についてなのですが、市もその方向に向かってやられていると思うのですが、まずは学校給食とか、大きな病院の昼食に、魚もありましょし、野菜もあるし、果物、清末の白菜もある。まあ、そういうのを使って頂くことが第一歩です。

それがあれば、育て、作る側としても元気が出ます。

だから、作ってばかりでは意味が無いので、作ればどんどん売れていくというようにすれば、全て良くなるという事です。

清末だけの問題ではなくて、市全体として、広い意味でそちらの方も良くなるようにね。今もやっていらっしゃると思うのですが、その波及効果で転作を作るとか、そういう波及効果が出てくるという様なことを、国などの問題もあるかもしれませんが、できるかどうか分かりませんが、可能であればやって欲しいと思います。

それから、公共事業でも規約があると思うのですが、下関市内の業者が元請けできない工事は、下請けとして扱って貰うなど、そういう付帯条件をつけて、とにかく下関市全体の問題として話をしていますので、下関市が良くなればとの思いです。

公共事業であっても、市内業者も上手くやれると思うのですが、大きな事業のため、請け負えない時には、市内事業者を下請けさせて頂くとか、とにかく現状と課題、資料の3ページ、4ページを見ますと、全部これ下向きですよ。これを一度に解決することは出来ないと思うので、一つずつ解決すると思えば、今の清末の現状ですが、農業の方を振興

するような振興計画作って、それが作る側にとって魅力になるような政策を進めて頂きたいと思います。

【司会】

ありがとうございました。発言された内容は、パソコンで入力されて、後ほどスクリーンに出てきます。色々と発言の内容についての意見もあろうかと思いますが、それはちょっと後回しにしまして、最初はもう言いつ放し。自分が思っている事を、どんどん言ってみてください。それでは他にありませんか。

【市】

ご発言された事を概要としてまとめたもので、趣旨が違っていれば、修正もいたします。

【市民】

今、農業の事が出ましたけど、実は私も定年退職してから農業をやっています。まだ1年生です。

今、盛んに一次産業×二次産業×三次産業とかけ合わせて六次産業ということで、農家の人はお米を作るだけ、野菜を作るだけでなく、加工の事も考えようという事で、去年くらいに、市の農政課へお邪魔しました。

そうしたら、もう農地とか山林とかの話ではなくて、市街化調整区域に関する事案だという話になって、法律上は駄目だとなりました。しかし、国はもう六次産業化を進めてきているが、県に確認したら、まだ法律の解釈は市町に下りていないという所があって、私は六次産業に手を出そう、挑戦してみようと思った矢先、農政課に行ったらそれは駄目だということでした。

結局、行政内の自治なのかもしれませんが、建築指導課まで行きました。

農政でさえ、農業の人を活性化させるためにしようって言っても、そういった法律の解釈が市町の人々の認識度、温度差のためになかなかそれがいかないと。

行政内でも分権が進んでないのかなと思ったんですけど、要はそういう障害にぶつかって、特例で牛舎を建てるとか、牧場へ置くということであれば、建物を建てるということで、そういった中山間地にお店を開こうかと思ったら、前に進めなくなりました。まあそういうことがあったので、ご披露いたしました。

【司会】

他にありませんか。

【市民】

清末ふるさとまちづくり推進協議会から参加しました。よろしくお願いします。

空き家の事なのですが、空き家条例というのが今年の4月から下関市で制定されたようですけれども、これは防犯とか防災とか、そういうものが主になっているように思うのですが、これを有効活用というのですか。何か良い、活性化につなげていけるような方向に持っていくという方法もあるのではないかなと思います。

これには調整区域とか、色々と市の都市計画にも絡んでくると思うのですが、将来的には、こういった空き家を有効利用するという、或いは地域の若者を巻き込んで、活性化を図る方法を、こういう空き家は今後、当然増えますけれども、清末の町の魅力を引き

出して貰うといいですか、自然も多い地域でもありますし、大学生や若者を巻き込んだ形のもので、何か組織づくりというような、そういう意見を聞く機会があっても良いのではないかと思います。

【司会】

どうぞ、次の方をお願いします。

【市民】

清末地区食生活改善推進協議会から参加しました。よろしくお願ひいたします。

この公民館周辺のことですが、特に住宅やアパートが、もう通るたびに新しく建っているような状態で、外灯の設置も間に合わず、暗い場所も多いとよく聞くので、その辺り、ちょっと外灯を増やして頂きたいと思います。

一例を挙げますと、これから下りた所ですが、なんかすごく暗いんですね。

今までは、道や田んぼだった所に住宅やアパートが建ちまして、だから設置をお願いしたいと思います。

それと、わがままなお願いになりますが、平成3年ぐらいから、清末のまちづくりでは無いのですが、独居老人のための弁当作りに、ここの調理室を使わせて頂いています。

ここ何年かは、特に暑さが今までのものとは違ってきていますので、簡単な冷房設備の設置をお願いしたいと思います。

【司会】

公民館の空調施設の設置ということですね。

これは、市に色々と要望している中に入っていますが、お金が無いとのこと。

【市民】

今は、何十年も前の扇風機がありますが、風が来ないので、扇風機を2台置いてもらっています。

【司会】

他にありませんか。次の方をお願いします。

【市民】

保健推進委員をしています。

今は、清末にはすごく沢山の住宅が建ちまして、子育てサークルに重心を置いているのですが、子供たちもかなり多く来てくれるので、大変嬉しく思っております。またこれからも、沢山の子どもたちに来て頂けるようにお願いしたいと思います。

【司会】

それでは、順番に回してみましようか。

【市民】

J A下関清末支所運営委員会から参加しました。

私は、サラリーマンを辞めて、こちらに帰ってきて、まだ7年位しか経っていません。

それで、現在、自治会長をしながら、J Aに色々と関係してきて、つくづく思うことが2～3点あります。

一つは、非常に自然が豊かな所と言いながら、ずっと奥の方に行くと全く外灯がなくて、

夜は真っ暗の状態。同じ税金を払っているのに、不公平じゃないかというのが1点。

それと、治水場の堤がこの近辺に10箇所くらいあるのですが、その管理、水位を確保するための管理は、みんなこの地域の人、自治会の地域の人がやっています。

それから溝の掃除、草刈りも大変です。

それで、環境保全会という所にも所属しているのですが、皆で色々な農業のサービス、地域の皆を呼び込んでの草刈り、溝掃除をして欲しいと言っているのですが、自治会からの参加者がほとんどいません。年に一回ぐらいは、自治会から参加してもらおうのですが、正直言って、若い人の理解はありません。

それと、この近くに家が建つのですが、家を建てるためには農業委員会という一つのステップがあるのですよね。そこで審査を受けて、着工しても良いとなる。

ところが、そこに家が建った後も、近くの農地では、業者が機械を使って農薬の空中散布をするので、農薬が風にのって家まで飛んでくる。

農薬の散布には、色々と危惧される場所もありますが、宅地に家が建って、農業とは関係の無い人が住むことになると、洗濯物が汚れるだとかの苦情がくる。これが現実なのです。そうは言いながら、家を建てたいと言われる人が随分おられます。

第一に、清末地区は周辺5地区の中では、この10年間、20年間で最も人口が増えているのではないかと思います。

そういうことから、海側から山側へという日本人の移動が今から始まるんだろうと思います。そういうことで、段々と奥の方も人口が増えてくると思うので、だからそういうことを一つ見て、役所の方も、ただ金をばらまけば良いという時代ではなくて、もう少し真剣味のある金の使い方をして貰いたいし、ただ自治会の方に丸投げじゃなくて、自分らも責任を負うと、自分らは3年やったら交代するというのではなくて、次の人にステップ、一つずつ目標をクリアしながら、次に進んで欲しいなと思いますね。

【司会】

それでは、もう順番にいきましょう。

【市民】

私は、色々な方と連携して地区の事をやっていますけれど、民生委員とは連携したり、商工会とも夏祭りなどで色々やっていますが、皆で力を合わせてやっていきたいので、意見があればお願いします。

市役所、支所にも言いたい事があります。

中学校の草刈りは、地元で、ボランティアでやっているのですが、そういう事も色々ありますので、皆さんの意見があれば聞きたいと思います。

【司会】

今、投げかけがありましたので、また後程、ご意見をお伺いしたいと思います。

NPOの活動もしていってほしいから、また色々お願いいたします。

【市民】

清末小学校PTAとして参加しました。

私は看護師をしているのですが、子供を産んだ後、預ける所が無いということで、仕事

から離れて専業主婦になる方もおられるようです。

子供を預ける場所があれば、仕事へも復帰できるのにとよく思うので、もう少し保育所を充実させて頂けたらと思います。

【司会】

では、東部中学校PTAの方、お願いします。

【市民】

東部中学校のPTAをやっているのですが、子ども会でソフトボールも教えていまして、つくづく思う事があります。

最近、子ども会に参加する児童の数が段々と少なくなっています。

先ほど、若者が定着するようなまちづくりとか色々と言われているのですが、なかなか子供たちが一緒になって活動できるような場が無くて、子ども会も、私がまだ小さかった頃は、各校区で、清末の中にも6～8つくらいあって、ほぼ強制的に、女子も男子も全員、子ども会に入って、毎年必ず市子連の大会に参加するような、そういうふうな形で活気があったのですが、最近はそのような活動もなくて、規模も段々と縮小して行って、すごい寂しくなっています。

何かもっと、子供たちが学校の行事とは別の事で、もっとみんなが参加する、子供たちがもっと参加できるような仕組みといますか、強制的なものがあっても良いのではないかと思いますし、もっと子供たちがスポーツを通じて交流できるような、そういう風な仕組みを作っていけたらなと思っています。

【司会】

はい、次の方。

【市民】

清末商工振興会から参加しました。

私がいつも思うのは、こういったまちづくりの会が、一年に一回ぐらいは催しをされておりますけど、やはり本当に、行政が安心・安全とか言うのであれば、できたらもう少し年に何回かの会合だとか、そういう組織作りをもっとして頂ければ、また素晴らしい意見も出るだろうし、その中で、地域でのリーダーを育てることもできると思っていますので、是非、年に一回ではなしに、できたら各団体から出る人がどういう層になるか分かりませんが、若い層も出して頂いて、素晴らしい行政ができるような活動になれば、素晴らしいまちづくりができるのではないかなと思っています。

あともう一点。もう随分と前からですが、国道491号が小月から清末のバイパスに抜けるということで、大方、確定したと聞いていますけど、実際、小月駅の裏については大字清末ってところで、今から開発していく上で、清末というのは素晴らしいものを持っている地区だと思っていますし、是非、色々面白いまちづくりができるのではないかなと思っていますので、皆さんのご参画をよろしくお願ひしたいと思います。

【市民】

清末第一清寿会から参加しました。

高齢化の問題に伴いまして、医療費の抑制というのが全国で2兆円以上という膨大な金

額になります。そこで、やはり老人クラブとしましては、引きこもりを無くすため、清末の憩いの家を活用して、毎月、色々な講座や活動をしております。

しかし、足の悪い方は、行きたいと思っても、行けない。そういう時に、単独の活動というのは、なかなか難しい所もありますので、皆さんで、そういう所を補い合って、協力し合って、こういう活動をしていけば医療費抑制にも繋がりますし、参加される老人も増えるということで、生きる希望も出てくると思います。

参加されますと、皆さんは大変笑顔でお話しをしたり、色々な取り組みを一生懸命されておられますので、是非、こういう会を利用して皆さんで協力できる所はお互いに協力していけたらと思います。

【市民】

清末地区スポーツ振興会の副会長をしています。

色々なご意見が出ていますけれど、まず清末という地区は、やはり農業をされる方の多いところで、農業がどんどん盛んになれば良いなと思っているのですが、ただ、私たちが住む地域は、高齢化の色が強くなってきました。

私が子供の頃、今から35年位前には、60人以上の子供がいましたが、今は地区に2～3名しかいないという感じです。もう年寄りばかりになっています。

特に、子供がいないので30代ぐらいの女性もいません、

ここ数年の事ですが、地区の運動会を2年に1度開催していますが、地区から出る子供はいないので、外から帰ってくる人を入れて、どうにか地区代表の競技をやっている状況で、今後ますます厳しくなるように感じます。

私も子供がいますので、農業をして、いずれは子供に渡したいのですが、私も農業でもっと収入があれば、もう少しやって行きたいと思っているのですが、このままでは子供に引き継ぐのもどうかと思っています。

これについて、皆さん方が、どうされているのか分かりませんが、今後、どういう方向へいくか、未だに私も分かりませんが、今後、農業でも収入があるような方向に行けば良いかなと思います。

それと、私はスポーツ振興会の役員もしているのですが、この地区には、スポーツ振興会とか、下関市全体とか、山口県の大きな団体など色々あって、私は市のスポーツ推進員になっています。

山陽地区での大会があるのですが、参加人数を集めるのも厳しいのですが、地域で大会をするにしても、普段は小学校のグラウンド等でやっていますが、場所が少ないので競技がなかなかできません。結局、体育館を利用するにも、清末地区で大会をする場合にも、王司や小月地域の体育館を借りなければいけないということで、もう少し地域に大きな競技場やグラウンド等を整備して貰えればありがたいなと思います。

【司会】

では、清末地区民生児童委員会の方。

【市民】

民生委員をしています。

私たち民生委員は、世代間交流で保育園児とか、小学校の子供たちと一緒にお年寄りの家を訪問して、色々な交流をしています。

私は、時間が許す限り、毎朝、小学校の子供たちの見守り活動をしているのですが、子供たちもやはり毎朝顔を合わせると、清末の子供たちはすごく挨拶が上手です。

他の場所で遭っても、挨拶をすごく良くしてくれます。「おばちゃん、あそこで遭ったね」と挨拶してくれます。

だから、私たち民生委員の立場からして、お年寄で家にいらっしゃる方、今は何もしなくて子供に声をかけるとすごく不安に思われますから、私は見守り隊の黄色い腕章をして学校に行くようにしているのです。そうでないと、知らない子というのは何も無しに声をかけると、不安に感じて逃げていきます。しかし、腕章をして声をかけると、次回からは向こうの方から「おはようございます」と、すごく明るい顔をして声をかけてきます。

だから、そういう活動を民生委員としては行っています。ですから、これからは家にいらっしゃる方でも、もし暇がありましたら、腕章をされて子供たちに声をかけて頂ければ、清末の子供たちはとても挨拶が上手ですから、明るい子供たちになるのではないかと思います。

【市民】

清末地区福祉員会として参加しました。

福祉委員といたしましては、やはりお年寄り独居老人の方が気になります。散歩の途中で、今日は元気かなと気にかけています。この間もちょっといくら声をかけてもあれですから、民生委員の方にお話して、寄って貰った事もありますけど、そういった活動をしています。

それから、清寿会の方と一緒に意見なのですが、私たちはグラウンドゴルフや健康体操などをしていますので、出てこられる方はみんな健康でいつも顔を会わせていますから良いのですが、出てこられない方にどうしたら参加して頂けるか、何か良い方法がないかと思っています。

【市民】

清末子ども会の会長をやっています。

清末小学校は、現在、440数名の児童がいるにも関わらず、子ども会に加入しているのは約80名と、約6分の1程度しかありません。それは、私の至らない所もあると思います。

しかし、子供たちの中には、子ども会に入りたいと思っている子も結構いるようで、色々な行事に参加したいという声を聞いたりしますけれども、今は、昔に比べて夫婦共働きの世帯が非常に多いので、なかなか親もついていられないといった事情もあるでしょうし、子供たちの習い事も多様化しておりまして、スポーツ少年団といったものもありますから、なかなか子ども会に参加する時間を取れないだとか、また親も役員が回ってくるから嫌だとかで敬遠されるご家庭もあるようです。

そのため、結局、今残っている方は「役員になっても仕方がないね」とか、「まあ、いいよ」というご家庭だけが残っていますので、これより大幅に減ることはないと思うんで

すが、結局、分母が少なくなれば当然役員も頻繁に回ってきますし、何年も続けてしなければならぬという状況にもなるので、現在、役員をされている方々の負担が大きくなっています。

これは子ども会だけに限らず、今ここにご参加されている皆さんも、結局、何年も役員をされている方が多いので、その辺のシステムの改善ですかね、自治会に加入しない世代が増えているとか、あっても参加しないとか、いつも出てくる人は同じだとか、当然、負担が増えてくると、負担であれば面白くないと悪循環になってくると思いますので、その辺を行政と地域が、手を携えていかなければならないのではないかと、という思いがあります。

それと私は、子供会とは別に清末小学校のPTAの役員をやっております。東部中学校校区でありますので、先日も東部中学校と小月小学校、王司小学校、清末小学校のPTA役員が集まって、交流のためのお茶会の催しを開催いたしました。

子ども会についても、東部中3校区の王司、小月、清末の3校区が集まって、子供たちの交流会と大人の交流会もやっておりますけれども、そういう所で、どこかで顔合わせるかもしれないという面々が集まって、子供を通じて色々と楽しく活動するイベント等も、今現在やっております。

それと、清末小学校はこういった自然に恵まれた環境柄もありまして、地域のボランティアの方に助けられて色々やっていることもあります。

絵本の読み聞かせサークルもありまして、月に3回、水曜日の朝学の時間に、各学級に入って絵本の読み聞かせをやって、僕もそういうのが好きというかお誘いもあって、一時期、小学校とか幼稚園で読み聞かせを良くやっていたのですが、そういうのもありますし、他の団体の方が来られて、子供たちと一緒に活動されたりすることもあります。

また、学校の公式行事としましては、清末保育園、清末幼稚園、王司山田園との交流活動もあります。小学校のすぐ裏の一面に、田んぼをお借りしての学習活動で、粃から始めて植えていって、今はかなり成長して稲穂が頭をたれている状態なんですけれども、11月に刈り取って12月にはもち米なので、おもちをついてみんなで食べたり、地域の方に配ったりだとか、地域とすごく密着した、下関市内でも2校か3校しかないと聞いたことがありますけれども、そういった学習の取り組みもやっております。

あと個人的に、この公民館の事ですけれども、住民に対する面積ですか、割合がかなり狭いと聞いております。老朽化も進んでおりますので、未曾有の災害等が発生した場合の避難場所としても余り適合してないようです。小学校は、体育館と大きな方の校舎の耐震化工事が進んでおりますが、こちらはどうなるのか。仮に建て替えるにしても、現在の駐車場部分に建てるのか、それかいつそのこと、どこか別の場所になるのか。たぶん清末に住んでいる方は、関心を多く持たれていると思うんですけど、その辺どの程度まで計画が進んでいるのか分からないんですけれども、なるべく早く開示して頂きたいという思いがあります。

それからすみません、長くなりましたが最後にもう一つ。こういう集会の開催は、非常にありがたいのですが、私は、個人的に土曜日にも仕事が多いので、できれば夜か日曜日と

かに開催していただくと大変ありがたいです。

【司会】

色々のご意見を頂きましてありがとうございます。今まとめて貰っていますが、要は清末地区の課題として、それぞれの皆さんから色々なご意見を頂きました。ご存知とは思いますが、現在、清末は人口が増加傾向にあります。

ここ10年間で、東部の5地区のうち4地区は人口減少の傾向にあります。ところが清末だけは増加の傾向にあるというデータが出ております。まだこれからも住宅が建っていくのかなと思いますし、今もアパートが出来つつあります。

そういったようなことで、それにまつわる色々な課題も今後は出てくるだろうと考えられます。高齢化率は、支所管内では清末が2番目に低いです。先ほど、自治会によっては高齢者が多いといった話もありましたが、清末全体で見ると、年々1パーセント程度は上がっているのですが、今年の5月に調査した結果では22.2パーセントということで、川中地区と同程度の高齢化率です。勝山地区が20パーセント台ですから、これに比べると清末地区は若年層が多いのかなと考えられます。

しかし、そうは言っても、お一人暮らしの方とか、ご夫婦二人暮らしの高齢者の方も沢山いらっしゃいます。ボランティア活動をしている「どあーず」のお陰で、高齢者の方々も非常に助かっており、公民館も助かっているのではないかという話もありましたが、地域にお住まいの方々も、非常に助けられて生活していらっしゃるというのが現状です。

さて、そこで色々出てきました課題の中で、ここは、或いはこういう所については、こうしたらどうだろうかとか、或いは清末を支えていくために、今後、活性化していくために、このようにしたら良いのではないか、というようなご意見を頂ける課題があれば、おっしゃって頂こうかなと思います。時間も限られていますので、もうあと幾つかお願いします。

今日、全部はできないと思います。次回への課題とされても構いませんので、今日、皆さんが発言された中でお気づきになられて、ご意見を頂ける方は、お願いしたいと思います。自分の出された課題ではなくて、他の人の課題でも、自分はこう思う、ということでも結構でございます。

どなたかいませんか。まあ、解決の出来る方向性のあるものと、それから、これは今すぐには無理だというものがあります。

今、一番、この課題の基本は、要するに地域の現状を捕まえて、その現状に対応して我々が主体的にその課題に取り組んでいこうではないか、ということが大事ではないか。そのための行政のバックアップとか、或いは支援を頂きながら、将来、清末地区のまちづくりを、今よりもっと良くしようという。こう言うてはいけなんでしょうが、なかなか解決の難しい課題もあろうかと思えます。しかし、可能なものはできるだけ皆で、意見を交換しながら働きかけていかなきゃいけないのかなと思います。

【市民】

表の一番上に、農産物の地産地消がありますけど、他の地区には道の駅とかそういうのが出来ておりますけど、清末にも百円市場というのがあります、道の駅に代わるものであれば、

もっと組織の充実だとか、そういうことを行政にして頂ければ、道の駅とまではいなくても、地域の色々な農産物の売り出したとか、そういうのがとても良くできるのではないだろうかと思っておりますので、お願いしたいと思います。

【司会】

安全・安心のまちづくりという面から、外灯の課題が出ましたが、外灯が何か欲しいと感じているのは、特に女性の方に多いのではないかと思います。これは自治会の課題として、是非、取り組んでみたいと思います。

また、災害時の避難場所をどうにかして欲しいという意見もありました。これも大きな問題ではあります。清末地区の防災について、しっかりした組織作りを自治会の課題として、取り組んで行こうとなっております。

ご存知の通り、今日は、各団体の代表の方に集まって頂いておりますが、今、自治会ではネットワークづくりを組織化して、各自治会の中で、まず自治会長が自分の地域の実情、自分の把握している自治会の状況を知らないようではいけないと言うことで、実態を把握するための会を開いて下さいと伝えています。それが1点。

もう1つは、小学校の教育が、段々と変わってきておまして、地域の皆さん方の力を借りながら、学校の先生だけでは出来ない面を、家庭だけでは出来ない面を地域に求めて、コミュニティ・スクールという名称で、しっかりと皆さんのご協力を仰ぎたいということで、今、沢山の応援者が出てきております。今、40名近くが登録されていると思います。

最後に、余り時間がないですが、どなたもご意見は無いですか。

【市民】

先ほど、市内での自治会加入率が83パーセントだと言われましたが、清末地区はどのようなになっていますか。

【司会】

清末地区の自治会加入率に関する正確な数値は持ち合わせていませんが、ほとんどの方が入っていらっしゃるようです。

中には、単身のアパート暮らしの方、ワンルームマンション等を活用していらっしゃる方の中には、加入されていない方がいるかもしれません。しかし、新しくできたアパートなどは、業者の方が、前もってゴミ置き場の設置とか、自治会費を徴収して自治会への加入を推進する働きかけが行われていますので、加入率は良いと思います。

先ほど、清末あそびっ子クラブからご発言がありましたが、自治会からのお願いで、今までは地域の色々なイベントやお祭りで配るぜんざい作りを、あそびっ子クラブ、どあーず、それに民生委員らにも協力して頂いていました。これは、別に協力が嫌だという訳では無いのですが、やはり地域のお祭りですから、地域の皆さんが、特にお祭りの担当地区には相談員から世話人と色々な方がいらっしゃるかと思います。

そこで、今後はどうするべきかといった事を、今年からしっかり話し合っていて、また、子供やお年寄りまで参加できるような、楽しいお祭りするために、担当の自治会長へお願いしています。

【市民】

もう時間も余りありませんので、清末あそびっ子クラブとしての発言させていただきます。実は、平成16年度から清末あそびっ子クラブでの活動を始めて10年目となります。

これはまだ具体的なお話では無いのですが、10年目を迎える総決算として、清末あそびっ子祭りという名称で、秋の大祭を応援しようというイベントを考えています。

20日の八幡さんでの神輿かつぎとか、餅まきと連動して、地域振興に結び付けていこうという取り組みで、バザーの出店など色々なものを公募していますので、よろしければご協力頂ければと思います。民生委員は、うどんの販売などを行うと聞いております。

その代わりと言っては何ですが、10年の節目で、今、自治連合会長からもお話がありましたように、市報9月号にも掲載されていますが、コミュニティ・スクールで清末小学校のボランティアとして、あそびっ子のボランティアも登録をさせていただいて、学校を地区から応援していこうと思っていますので、一応お披露目させていただきます。

【司会】

まだまだ、色々ご意見もあろうかと思いますが、時間も迫ってきました。

全ての皆さんから頂いた色々な課題について、どうしたらよいか、まだ完全に解決はしておりません。残された問題が沢山あろうかと思いますが、これは今後の課題として、またこういう場を設けながら解決に向けて進めていきたいと思っています。

いずれにしても、今日は初めてのこういう会議でございましたから、何を言ったら良いか分からない、という気持ちであったのではないかと思います。皆さん、それぞれのお立場で、それぞれのご意見を頂きました。

今、前のスライドに整理してありますが、それにお目を通して頂いて、今日の集会在有意義であったことをお伝えしながら、本日の意見交換の会を閉じさせて頂こうと思います。

以上で、意見交換会を終わりにいたします。どうもありがとうございました。

【市】

最後に一言、ごあいさつをさせていただきます。

今日の会合の中で、一番最初に、清末あそびっ子クラブから、この会議はどういう形で、どういう目的だというお話があったと思いますが、その中で、今日は皆さんの課題を出して頂きながら、課題を解決するきっかけとして、どういったお話ができるかという様な話をさせて頂きました。

私が最初に言ったのは、行政がこうであるべきだというのが幾らあっても、例えば外灯であれば、これは必ず行政が作るものであると決まった外灯であっても、例えば半年先になるか、1年先になるか、或いは2年先になるか分からない。これだと2年先まで黙って待つのかという話にもなります。ならば、1年、2年の間に地域で何かしておくべき事があるかなど色々なことも踏まえて、今回、このような会合をさせて頂きました。

普段、自治連合会が地域をまとめ、見守って頂いている事は、皆さん周知の事ではあるのですが、地域課題があるけれども、日々の議題をこなすだけで精一杯な部分もあって、これまで、こういう風に少し自由に話し合える場が、持ちにくかった所もあろうかと思えます。

今日の話し合いの中で、民生委員から、家に閉じこもっている高齢者の方も、子供の見

守りなら参加もできるし、地域との輪も広がるといったお話、福祉員からは、健康体操を長寿会と一緒にやっているが、参加されないお年寄に参加してもらうために悩んでいるといったお話、こういった、日頃は会話されていない事も、こういった場で地域の皆さんに周知することができると思いますし、できればこういう所が、場合によっては地域でもう一つ次のステップに進むためのきっかけになる部分もある訳です。

今日は、議題を出しただけに過ぎませんが、今後は、これをまちづくり繋げることができる、きちんとした会議の形にしたいと思っています。

自分たちのグループ、組織の中では、課題に対して、こうやって解決していこうと決めて活動されていると思うのですが、それだけではもう一つ踏み込めないような部分もあったりしますが、地域として話し合いをすれば、もしかしたら地域の中で、もう一步ステップするための輪を広げることができるのではないかと。

先ほど、清掃の話、草刈りの話もありましたが、やはり、自分たちの範囲には、自分たちの役割があつて、今までもこういう風にやってきたのだから、その事にとやかく言われたくないといった思いもあるかもしれませんが、地域全体でもう一度、地域の環境美化として考えたら、どういう役割分担にしていけば良いのかだとか、その中で、場合によってはこんな協力関係に変えていけば良いだとか、色々な案が出るかも知れません。

だから、今後、少しずつ行政へ依頼することも含め、地域で放っておけないような事も増えてくるかと思っています。

そういうものを少し落ち着いた、こういったまちづくり会議などの場で、メンバーは誰か分かりませんが、今回は、それぞれ地域づくりのリーダーに集まって頂いた訳ですが、清末なら、こういうメンバーで、まちづくり会議をやれば、直ぐに集まって地域の新しい領域の形成や、ルール、新しいやり方にしていこうだとか、そういうことが場合によっては一つでも二つでも今後、出てくるかも知れません。

全てを自治連合会長が担って、課題を抱えれば良いというものではなくて、何か一つでも、二つでも安心・安全な地域にしていくためには、まちづくり会議という形は面白いと思いますし、新しい仕組みとして皆さんにご活用して頂けるのではないかと考えています。

その場には、行政にも色々なメンバーがいますし、行政ができること、できないこともきちんとお伝えしながら、支援できる部分についてはやりますし、できないことについても、それを課題として当面の対策を一緒に検討もしていけるのではないのでしょうか。

外灯にしても、ある自治会だけに任せておけばよいのか、もっと多くの自治会でどうにかしないといけないのか、または、行政がやるべきかといった事もありますし、それとも地区としてやるべきなのか、そうして進めないと、いつまでも変わらないかも知れません。

色々な事で、何か一つでも、二つでも進めるきっかけとして、こういう会議を、今後、活用して頂きたいと思っています。現在でも多くの課題解決に向けて、自治連合会を中心に機能している、まとまりのある地域だと思っていますが、是非、このような方法も活用して頂きたいし、その中で地域の信頼度を高めて頂きたいと思っています。

【市】

以上を持ちまして会議を終了させていただきます。ありがとうございました。